

No. 2017-07

研究期間 H29～R3

モツゴ産卵床の増殖効果の算定及び設置条件の把握**[研究概要]**

印旛沼の漁業者が実施しているモツゴの産卵床設置による増殖行為について、その効果を算定するとともに、設置適地の条件・設置可能規模・管理可能数を明らかにする。

このため、現在の増殖方法の実態把握を行うとともに、産卵環境・設置適地、産卵基質の違いによる産卵状況等、産卵床の設置に必要な条件を整理し、効果的な設置・管理方法の検討及び増殖効果の算定を行う。

[期待される成果]

- ・モツゴは印旛沼の漁業者の主要漁獲物であることから、資源の維持・増大は漁業者の収入安定につながるるとともに、地域特産品としての安定供給が期待できる。
- ・産卵床の設置適地・適期を明らかにし、増殖効果を算定することができれば、他の湖沼においてもモツゴを漁業権の内容とすることが可能となる。

No. 2017-08

研究期間 H29～R3

遡上性に優れたアユ放流種苗の作出**[研究概要]**

本県内水面漁業の重要魚種であるアユについて、遡上性に優れた放流種苗を作出するため、天然魚の活用手法を検討するとともに、作出した種苗の特性を把握し放流効果を検討する。

このため、天然遡上魚を採捕して養成した親魚から人工海水を用いて種苗を生産し、遡上性、耐病性、なわばり性を評価するとともに、標識放流試験により放流効果を把握する。

[期待される成果]

- ・天然遡上魚の安定的な確保と親魚養成方法の確立、耐病性を確保するための「戻し交配手法」の確立により、優良種苗の安定生産が期待できる。
- ・病気に強く、河川定着性が高く、なわばりを持ち釣りやすい種苗の放流により、アユ遊漁者等の増大が期待できるとともに、採捕されたアユの店頭販売や食堂利用が見込まれ、地域資源として有用である。

No. 2019-05

研究期間 R1～R3

県内河川における下りウナギの出現状況の把握**[研究概要]**

産卵に向かう下りウナギの資源管理方策を検討するため、河川での漁獲実態を明らかにする。

このため、利根川でウナギ鎌を用いた採捕を行い、その性状について過去の知見との比較・検討を行うとともに、利根川以外の3河川において8月から12月までの操業状況と漁獲物の性状を把握する。

[期待される成果]

- ・放射性物質の影響によるウナギの出荷規制が解除された後の資源管理方策を検討する上で必要となる科学的根拠が得られる。
- ・ウナギ漁業の資源管理について、資源管理方策に基づき適切な指導を行うことができる。

No. 2019-06

研究期間 R1～R5

ホンモロコ高成長系統の作出**[研究概要]**

県内におけるホンモロコ養殖振興のため、付加価値の高い大型魚の生産に向けた技術開発を行う。

このため、他魚種で実績のある選抜育種により大型親魚を養成し高成長系統を作出するとともに、新系統に適した飼育方法を検討する。

[期待される成果]

- ・生産魚の大型化により高価格化が期待でき、生産者の収益向上と地域振興に貢献できる。
- ・経験の浅い生産者でも高成長が期待できることから、収益を確保しやすくなるとともに、他業種からの参入も容易になることが考えられる。

No. 1975-03

【モニタリング課題】 研究期間 S50～R5

河川湖沼の魚介類資源動態の把握（魚介類相調査及び放射性物質影響調査）**[研究概要]**

漁業権が設定されている河川湖沼において、環境変化に伴う魚介類生息状況の変化を明らかにするとともに、手賀沼及び利根川の魚類の放射性物質濃度、利根川のシラスウナギ来遊状況等を把握する。

このため、印旛沼、手賀沼及びその他の河川湖沼で魚介類相の把握を行うとともに、手賀沼、利根川では出荷制限等を行っている魚種の放射性物質濃度を、また、利根川下流ではかぐら網によるシラスウナギ採捕量等を把握する。

[期待される成果]

- ・河川湖沼における水産資源の増大や漁業振興に必要な基礎資料が得られ、有用魚介類や外来種の動向などは漁業者、河川管理関係者や県民に情報提供する。
- ・放射能影響調査により、手賀沼や利根川の出荷制限指示等の解除の判断材料が得られる。
- ・シラスウナギの来遊状況を把握することで、国と連携した適切なウナギの資源管理を進めることができる。

No. 2001-02

【モニタリング課題】 研究期間 H13～R4

利根川・小櫃川におけるヤマトシジミ資源の変動把握**[研究概要]**

利根川及び小櫃川においてヤマトシジミの資源状況を把握し解析を行うとともに、漁業関係者に情報を提供する。

このため、利根川（千葉県側水域）及び小櫃川において採捕調査を年1回実施し、成貝、稚貝の出現状況、生息環境（連続水温、底質）を把握するとともに、資源量の推定を行い、関係漁業者等に情報提供を行う。

[期待される成果]

- ・利根川におけるヤマトシジミの資源状況は、漁業者等への重要な情報提供になる。
- ・小櫃川では、漁協による漁業権に基づく資源管理の取組を通じて、安定した漁業生産に寄与する。